



# まんさく

\*令和元年10月1日発行 第50号

～こころ豊かに…あなたらしさを大切にします～



【発行】—社会福祉法人 大北社会福祉事業協会—

特別養護老人ホーム	白嶺	〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村大字神城22847番地2 TEL0261-75-4010 FAX0261-75-4002 URL <a href="http://hakurei-nagano.com">http://hakurei-nagano.com</a>
デイサービスセンター	白嶺	TEL0261-75-4030 FAX0261-75-4003
居宅介護支援事業所	白嶺	TEL0261-75-4015 FAX0261-75-4003 MAIL <a href="mailto:kyotakuhakurei@hakurei.or.jp">kyotakuhakurei@hakurei.or.jp</a>

# 感染症予防のための面会時の対応について

- \*体調のすぐれない方、一週間以内に嘔吐・下痢止をされた方、ご家族がインフルエンザやノロウイルスに罹患されている方はご面会をご遠慮ください。
- \*玄関での手指消毒とマスク着用をお願いします。
- \*面会は面会室、センターステーションのみとし、居室、ユニットルームでの面会は中止させていただきます。
- \*面会時の飲食はご遠慮いただきます。差し入れの食品(既製品に限る)がある場合はお預かりしますので職員にお渡しください。(期間:令和元年11月1日～令和2年4月末頃まで)
- ※ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を宜しくお願い致します。尚、施設内でインフルエンザやノロウイルス等の感染症が発生した場合は面会自体を中止させて頂く場合もございますので予めご了承ください。

## 4/28 えべえべ祭

白嶺の隣にある白馬メディアさんのえべえべ祭に参加しました。



わたあめもいただきました



踊りもステキ



カフェで一杯

## 5/4 塩の道祭り

毎年、大町市～小谷村で開催されるウォーキングイベントを見学しました。



振るまいの  
とん汁を  
いただきました



参加者と



武将隊とパチリ📷

## 5/15 30 農具川・あやめ・芝桜見学

天気に恵まれ、満開のあやめや芝桜を満喫しました。



アヤメもステキでした



芝桜もちょうど見頃でした



お天気が  
良いですね

## 6/7 ほほえみ交流会

白馬村しろま保育園の皆さんとの交流会が行われました。



村児も来たよ～



元気いっぱいの歌や子供たちとのレクで利用者の方も元気をもらいました!!

## 7/25 納涼祭

今年も盆踊りや太鼓、吹奏楽の演奏、出店などが行われました。会場内は多くの方に来場いただきにぎわいの中、夏のひとときを過ごしました。ご協力いただいたボランティア関係機関の皆様、ありがとうございました。

盆踊り



夕涼み会



水神太鼓



山の音楽家



## 9/13 敬老祭

式典



今年度は15名の利用者の方が表彰されました

演芸



ブメハナさんによる  
息の合ったフラダンス披露

職員モバプリカを踊りました



センターの人は…  
スルーしておきましょう(笑)

茶和会

最後は茶和会でゆったりとお茶タイムを満喫



📷 白寿おめでとうございます

# デイサービスセンター白嶺

一日の様子を  
お伝えします



9:30  
到着。  
まずは温かい  
お茶で一服。



14:20  
体操の時間。  
みなさん、  
よく伸びてますね!

10:00  
入浴。  
お湯加減はい  
かかですか?



14:30  
レクリエーション。  
日替わりでゲー  
ム、運動、手工芸、  
脳トレを行って  
います。

12:00  
お待ちかねの  
昼食。  
この日は具だく  
さんの夏野菜  
カレー。



15:00  
おやつ。  
ちょうど小腹も空  
きました。

昼食が終わり  
次第午睡。  
おやすみなさ  
い。。。



15:30  
帰宅。  
「またね。  
元気でね。  
さようなら。」

14:00  
機能訓練も兼  
ねてたたみも  
の作業を行っ  
てもらいます。



毎日を安心・安全・快適に  
お過ごしいただいています

## ～こんにちは、居宅介護支援事業所白嶺です～

最近、「アドバンス・ケア・プランニング」(Advance・Care・Planning)というカタカナ語を病院などで耳にしませんか？略して「ACP(エーシーピー)」と言っています。これは「元気なうちに、もしもの時(延命治療など病気の治療方針を決める時や、重い脳の病気に罹り自分の意思を伝えられなくなった時)の事を話し合っておこうよ」という意味で、厚生労働省では「人生会議」と名付けています。

一昔前は、皆さん「ピンピンコロリ」を望んで、お地蔵さんの頭を撫でていたものですが、やっぱりそれでは残されたご家族は大変であるということになって、「終活」(財産の整理、愛用品の片付け等)をする方や、「エンディングノート」(口から食事ができなくなったらどうするか。自分のお葬式はこうして欲しい等)を作成しておく方が増えています。

終末期の話し合いについては、ご本人もご家族もお互いに気を遣って後回しにしがちですが、きちんと向き合って話し合いをしておくことで、もしもの時に医療関係者や介護サービス事業者がご本人ご家族の意思に沿った支援が可能となります。



## ご厚志

お心遣いありがとうございます。

- 小澤 誠 様
- 山本 益蔵 様
- 中村 堅 様
- (株)ユートピア 神戸 様
- 丸山 みすず 様
- 松澤 ふさ江 様
- 泉原 祐子 様
- 小谷村保健補導員 様
- 小林 久志 様
- 細野 建司 様
- 飯島 忠一 様
- 関 英晴 様

タオル、綿の布、白シーツ、たくさんありがとうございます。  
とても助かっています。これからも引き続き、よろしくおねがいします。

## 新任職員 竹内 あゆみ

昨年よりお世話になっております。  
皆様から沢山元気を分けて頂いています。

これからも笑顔になって頂けるような関わりを心がけてまいります。  
宜しくお願い致します。

## 編集後記

平成9年に創刊した「まんさく」も50号になりました。日々の様子を皆様にお届けしたい、そんな気持ちで発行してまいりましたが、いかがだったでしょうか？

これからも、皆様に楽しんで頂ける「まんさく」を作っていきたいと思っております。